

令和3年度 事業報告

(公財)ふるさと島根定住財団

I. 事業実績の総括

当財団は、県内就職の促進、U I ターンの支援に取り組むため、平成4年に設立された。
(平成23年4月に公益財団法人に移行)

以来、事業規模を拡大し、以下の三つの大きな柱を中心に、定住を促進する事業を展開している。

- 1：若年者の県内就職の促進
- 2：県外からのU I ターンの促進
- 3：活力と魅力ある地域づくりの促進

上記の取組みは、これまでも県の基本計画等に示されてきたところであるが、令和2年3月に策定された、県の最上位の行政計画である「島根創生計画」並びに「島根県雇用対策計画（令和2年3月策定）」及び「島根県県民いきいき活動促進基本方針（令和2年3月第3次改訂）」の施策に位置付けられているところであり、県の主管部局（地域振興部、商工労働部、環境生活部）と常に連携を図りながら、事業の執行にあたった。

上記の「島根創生計画」は、令和2年度から令和6年度の5年間を期間とし、各年度の成果指標の目標値が設定されている。当財団事業に関連する成果指標の目標設定もあり、その達成を意識しながら事業の実施に努め、下表のとおりの実績となった。

成果指標	R3年度目標	R3年度実績
ふるさと島根定住財団の「産業体験事業」終了時定着率	77.2%	84.4%
U I ターン希望者のための無料職業紹介による年間就職決定者数	324.0人	283.0人
ふるさと定住・雇用情報コーナーの相談件数	1,600.0件	2,600.0件
ふるさと回帰支援センターでの相談件数	750.0件	262.0件
しまコトアカデミー受講者数	259.0人	254.0人
移住支援東京拠点等での関係人口拡大セミナー累計受講者数	940.0人	968.0人
関係人口マッチングサイトによる県内地域へのマッチング件数	10.0件	16.0件

目標値に未達の指標については、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）による外出や往来自粛の要請等の影響を受け、対面での相談の実施が難しい状況であったことなどが原因と考えられる。

以下、3つの柱の主だった事業の実績、課題等について報告する。

II. 若年者の県内就職の促進

(単位：千円)

	現計予算額	決算額
県補助事業	67,734	66,452
厚労省委託事業	12,231	12,223
自主事業	7,200	7,043

1. キャリア相談事業 1,183 千円

(1) 事業の概要

学生や若年者（45歳未満）を対象に、就職についての“悩み”や“分からないこと”を専門キャリアアドバイザーが話をじっくり聴き、アドバイスやサポートを行う。

(2) 事業の実績

- ・対面、WEB、電話による就職活動についての悩みやわからないことの相談、応募書類の添削や面接練習の対応、就活力向上プログラム「ステップ9」の実施

【ジョブカフェ来所者・相談実績】

(単位：人)

区分	H29	H30	R1	R2	R3
来所者(延人数)	8,475	7,642	7,253	4,934	4,544
松江センター	6,273	5,828	5,450	3,432	3,112
浜田ブランチ	2,202	1,814	1,803	1,502	1,432
個別キャリア相談	5,192	4,458	4,625	3,149	2,976
松江センター (うちWEB等)	3,758	3,223	3,270	1,885 (1,013)	1,783 (767)
浜田ブランチ (うちWEB等)	1,434	1,235	1,355	1,264 (899)	1,193 (804)
学 生	3,515 (67.7%)	3,144 (70.5%)	3,111 (67.3%)	2,505 (79.5%)	2,294 (77.5%)
既 卒	1,677 (32.3%)	1,314 (29.5%)	1,514 (32.7%)	644 (20.5%)	667 (22.5%)

- ・就職活動での様々な場面を想定したテーマ別の就職応援ミニセミナーの実施
- ・県内大学と連携した相談対応をするため、島根大学と県立大学松江キャンパスでの出張相談や県立大学浜田キャンパスでのセミナーの実施

➡県内就職を促進するため、県内企業を選択肢の1つとして検討してもらえるようにすることが必要であり、相談者への県内企業の情報提供・発信を丁寧の実施

2. 学生に向けた情報発信 3,751 千円

(1) 事業の概要

就職する方を含め県内高校等を卒業する学生の「しまね登録」への登録を推進し、登録者へ卒業後も島根と「つながる」情報を届ける。

(2) 事業の実績

- ・就活情報サイト「ジョブカフェしまね」で県内企業の企業情報・求人情報の提供、ジョブカフェしまねで実施するイベント案内等を発信

- ・若者の情報収集の手段がSNS等のツールが主流となった状況を踏まえ、「しまね学生登録」に変わり、新たにLINEサービスを活用して情報を届ける「しまね登録」を開始
- ・高等学校、県教育委員会、県雇用政策課と連携し、「しまね登録」の登録を強力に推進

【登録状況】 (単位：人)

区 分	R3
LINEアカウント登録	3,767
詳細情報登録	1,680

- ・LINEサービスを活用した情報発信は、R4年度から本格的に開始
- ➡登録学生のその後の行動のフォローや利用状況の分析のためには、詳細情報登録までしてもらう必要があるがまだ低調なため、LINEポイント付与等の特典を提供し、詳細情報登録率の増加を推進

【※参考：しまね学生登録の登録状況】 (単位：人)

区 分	H29	H30	R1	R2	R3
有効登録者	10,490	11,319	12,030	12,056	12,750
新規登録者	4,020	4,192	4,074	4,062	4,310

3. 就職活動イベントの実施 37,828千円

(1) 事業の概要

最終学年前年度後半以降の学生等に対して、県内企業の情報提供と出会いの場を創出するために、説明会等を開催する。

(2) 事業の実績

- ・11月上旬までは、R4卒学生を対象に、それ以降はR5卒学生を対象に、合同企業説明会等の多くを対面式で実施。

【イベントの開催状況】

No.	イベント名等	開催日	場所	参加者人数	参加企業数
1	大学別企業説明会(島根大学)	R3.4.14(水)	松江テルサ	17	22
2	大学別企業説明会(県大松江)	R3.4.17(土)	県大松江キャンパス	83	21
3	大学別企業説明会(県大出雲)	R3.4.28(水)	県大出雲キャンパス	15	9
4	しまね企業ガイダンス松江	R3.5.29(土)~30(日)	くにびきメッセ	152	86
5	しまね企業ガイダンス浜田	中止			
6	しまね企業ガイダンス松江	R3.6.26(土)~27(日)	くにびきメッセ	156	91
7	しまね企業ガイダンス松江	R3.8.29(日)	くにびきメッセ	107	63
8	オンライン企業面接会	R3.11.10(水)	オンライン	23	32
9	年末ジャンボ企業博	R3.12.27(月)	くにびきメッセ	284	152
10	しまね企業ガイダンス松江	R4.3.5(土)	くにびきメッセ	317	207

注) No.1~8はR4卒学生対象、No.9~10はR5卒学生対象のイベント

No.4、No.6の参加者人数は延べ人数、感染症予防対策で会場入場制限100人で実施

No.8の面接回数は、48回



【しまね企業ガイダンス（3月）オプション企画の開催状況】

企画	開催日	内容	場所	人数
しまねスカウト型就活 ～自己プレゼンで企業に アピール～	2/28 (月)	企業採用担当等が学生ブースを 訪問し、学生が企業に自己PRを行 う逆求人イベント	対面	企業25社 学生24人
しまね企業ガイダンス ～県内企業3分間動画 L I V E配信～	3/5 (土)	コロナ禍によりイベントに参加が できない学生向けの採用情報等の LIVE配信及びアーカイブによる情 報提供	サイト	企業17社 視聴363回
しまね企業ガイダンス ～個別説明会案内企画～	3/5 (土)	コロナ禍によりイベントに参加が できない学生向けに、説明を聞き たいガイダンス参加企業から個別 説明会等を案内をする企画	-	企業24社 学生14名 (延べ56名)

➡就職活動の早期化等の影響により参加学生が低調であったため、早期化した就職活動に合わせて効果的・効率的にイベントを開催することが必要

4. しまね学生インターンシップ関連事業 10,144 千円

(1) 事業の概要

最終学年前年度までの学生を対象にインターンシップ参加の申込を受け付け、インターンシップ申込企業とのマッチング等、就業体験の総合調整を行う。

(2) 事業の実績

- ・夏期（R3年8月～9月末）と春期（R4年2月～3月末）にインターンシップを対面・オンライン・ハイブリット形式のいずれかの方法により実施



【インターンシップの実績】

項目	R1年度			R2年度			R3年度		
	夏期	春期	計	夏期	春期	計	夏期	春期	計
申込企業数(社)	158	127	285	76	107	183	112	96	208
マッチング企業数(社)	99	54	153	42	52	94	76	54	130
申込学生数(人)	335	89	424	133	158	291	369	127	496
マッチング件数(件)	355	111	466	122	159	281	352	117	469
参加者数(延数)	347	92	439	116	152	268	315	110	425

- ・インターンシップ申込前に、インターンシップ参加に興味のある学生が申込企業の担当者からプログラム紹介等を聞くオンライン交流会を以下のとおり開催

開催日	参加企業数	参加者人数
6月5日(土)	14	25
6月19日(土)	15	38
12月4日(土)	15	19
12月18日(土)	15	20



- ・R5卒向けの1Day 仕事体験（いわゆる1Day インターンシップ）を実施する県内企業の情報をジョブカフェしまねサイトに掲載し、学生との接点の場を提供

【1Day 仕事体験の実績】

	R2	R3
企業数	111	119
参加学生数(延人数)	277	321

- ➡就活生が就職希望先の選択肢として県内企業を検討してもらうためには、「しまね学生インターンシップ」や「1Day 仕事体験」を通じて、県内の企業や仕事の魅力を知ってもらうことが重要であり、より学生に参加を促していくことが必要

5. 企業向け採用力強化セミナー 3,034 千円

(1) 事業の概要

県内企業がインターンシップや企業説明会等を通じて、学生に対して情報を効果的に発信できるように、インターンシッププログラム改善等のセミナーを実施する。

(2) 事業の実績

- ・インターンシッププログラムの改善や人材確保のためのセミナーを開催

【セミナー開催実績】

(単位:社)

	開催日	内容	場所	参加社数
インターンシップ プログラム強化セミナー	7/9 (金)	講義①:「コロナ禍におけるインターンシップの状況」 講義②:「インターンシップにおける企業側のトレンド」	オンライン	42
	11/11(木)	講演:「オンラインインターンシップの設計、コンテンツの作り方、他社の事例について」 ワークショップ:オンラインインターンシップの体験	ハイブリット	23
人財確保セミナー ～オンライン採用活動と内 定者フォローについて～	10/7 (木) 10/8 (金)	◆Webを活用した採用活動について ◆求職者から選ばれるコミュニケーションについて ◆内定フォローの考え方(グループディスカッション、 ロールプレイング、質疑応答含む)	オンライン	50

- ・県内企業5社に対し、インターンシップを受け入れる企業のスキルアップを図るための支援を行い、報告会で改善内容を発表、サイトにも公開し他企業へも周知

- ➡インターンシップ参加の希望がない企業があることが課題であり、プログラム内容や広報等の改善を図るための企業の取組みを、引き続き支援することが必要

6. しまね就職活動応援助成 6,237 千円

(1) 事業の概要

県内企業の理解促進と県内就職の増加を図るため、県内企業に就職活動を行う学生やしまね学生インターンシップに参加する学生に対し、交通費、宿泊費を助成する。

(2) 事業の実績

- ・ しまね学生インターンシップに参加する学生に対し、宿泊費・交通費の1/2（上限30千円）の経費とR3年度は新型コロナウイルス感染症検査費用の全額を助成

【インターンシップに関する助成実績】

(単位：件、円)

		H29	H30	R1	R2	R3
しまね学生インターンシップ助成金	助成件数	36	45	27	27	15
	助成金額	652,007	814,533	648,100	344,100	219,100
新型コロナウイルス感染症検査費用助成	助成件数					49
	助成金額					826,990

- ・ 県内企業に就職活動をする学生等に対し、宿泊費・交通費の1/2（上限30千円）の経費を助成。企業での対面面接等が増加したことにより、件数・助成金額も増加

【就職活動に関する助成実績】

(単位：件、円)

		R1	R2	R3
しまね就職活動助成金	助成件数	42	89	205
	助成金額	489,400	721,700	1,546,600

Ⅲ. 県外からのU I ターンの促進

(単位：千円)

	現計予算額	決算額
県補助事業	352,690	350,915
自主事業	2,800	2,163

1. 無料職業紹介事業 6,656 千円

(1) 事業の概要

U I ターン希望者が島根県内で円滑に就職できるようにきめ細やかな就業相談をしながら、求人情報をはじめとする定住支援情報を提供する。

(2) 事業の実績

- ・しまね移住情報ポータルサイト「くらしまねっと」を活用し、U I ターン希望者と県内企業が直接WEB上でのやりとりを実施
- ・職業紹介担当を配置し、U I ターン希望者と県内企業の求人のマッチングの実施と、移住希望の地域の生活環境や移住支援情報を提供

【無料職業紹介事業の実績】

(単位：人)

区分／年度末	H29	H30	R1	R2	R3
求職登録者	1,862	2,010	2,051	2,119	2,131
(新規登録者)	730	725	644	736	618
(Uターン)	328	293	232	231	202
(Iターン)	402	432	412	505	416
(Iの内関係有)	99	109	107	106	98
各年度就職決定者	305	312	316	282	283

- ・求職登録者が、その後の相談に繋がるようにすることが重要であり、登録内容に応じた案内メール送信等の対応を実施

➡島根に移住後のフォローアップも重要であり、移住者同士の交流の場の設定や要望に応じ個別の支援を実施していくことが必要

2. U I ターンしまね産業体験事業 162,090 千円

(1) 事業の概要

県外からのU I ターン希望者を誘導するため、3ヵ月以上1年以内の期間、農林漁業等の産業体験を行う場合に、滞在に要する経費を一部助成する。

(2) 事業の実績

- ・新型コロナの影響により第一次産業への関心が高まっていることもあり、認定者数は前年度に比べ10人増加。申請件数も増加傾向

【体験者数】

(単位：人)

認定年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	H8～累計
認定者	81	83	90	90	88	83	93	103	2,206
体験終了者	81	83	90	90	88	83	72	9	2,105

- ・認定者の内訳：農業47人、畜産7人、林業11人、漁業29人、その他9人

- ・体験終了時に、そのまま県内に定着する体験者は、前年度同程度の割合（定着率）

【終了時定着率】 (単位：人)

年度	R2	R3
体験終了者	98	90
終了時定着者	83	76
終了時定着率	84.7%	84.4%

- ➡認定者が体験終了時に定着することが重要であり、体験者へのフォローアップの実施や体験者同士の仲間づくりの場を設定していくことが必要
- ➡申請件数の増加に伴い、新規受入先の確保が課題となっており、過去の受入先への調査や市町村との協力により新規受入先確保の取組みを実施することが必要

3. UIターン情報発信事業 33,246 千円

(1) 事業の概要

WEBサイト、SNS、情報誌等を通じてUIターン情報を発信する。

(2) 事業の実績

- ・しまね移住情報ポータルサイト「くらしまねっと」を大幅にリニューアルし、島根へ移住を検討するのに必要な情報の質と量を向上
- ・移住女子をターゲットに据え、Instagramの開設や島根に移住してきた女性のリアルな島根の暮らしの様子をリレーブログ形式で発信
- ・「島根で働く人の想い」、「職場の雰囲気」を感じられるよう『心で読む求人票』特設サイトを拡充
- ・SNSを活用した地域情報の発信のほか、各種媒体を活用したWEB広告をUIターン希望者の多い地域に重点的に配信
- ・UIターン情報誌「Beans」、定住支援ガイドブック「行こうかな、しまね」、移住支援紹介パンフレット「暮らしまね」の発刊
- ・UIターン希望者に、協力事業者から各種割引サービスや特典を提供する「しまねU・Iターンカード」を発行
- ➡島根の暮らしの良いところばかりの情報発信に偏ることなく、よりリアリティが感じられるよう、情報発信する内容の精査が必要
- ➡UターンとIターンでは求める情報等が異なるため、意図的にそれぞれの属性にターゲットを絞りアプローチしていくことが必要
- ➡他県のUIターン施策との差別化を図るためには、島根ならではの「押し」ポイントを際立たせていくことが必要

4. UIターンイベント等の開催 61,689 千円

(1) 事業の概要

島根県の移住相談や情報提供を目的として、UターンIターンイベントを開催する。

(2) 事業の実績

- 島根オリジナルのバーチャル会場を活用し、幅広いニーズに応えるオンラインイベント「しまね移住ワンダーランド」を開催。市町村、関係団体等と一体となったオール島根で来場者に対応



年度	R2	R3
開催日	10/31、11/28	10/30~31
特設サイトUU数	1,485	4,240
イベント来場者数	1,123	1,038
入場チケット発行数	560	561
市町村等対応数	271	220
財団対応数	77	93

注) R2は、しまね移住フェス、しまね移住ワンダーランド

- 現場からの中継や事前収録などを駆使し、島根暮らしを体感してもらう「しまね移住体感オンラインツアー」を県内8市町ごとに以下のとおり開催

NO	日付	市町村	内容	参加組数(組)	参加者数(人)
1	8/21(土)	雲南市	移住の先輩の声&座談会	14	21
2	9/25(土)	益田市	移住の先輩の声、豆腐づくり&お灸体験等	26	33
3	10/9(土)	大田市	クイズで巡る大田市ツアー(海・山・街編)	24	29
4	11/7(日)	出雲市	Iターン女子による和太鼓演奏&柿収穫体験、座談会	38	44
5	12/19(土)	川本町	薪ストーブのある暮らし	51	58
6	1/22(土)	浜田市	浜田暮らしの楽しみ方	30	34
7	2/11(金)	奥出雲町	雪のある暮らし	44	50
8	3/5(土)	松江市	夢に一步近づく街 ~松江で〇〇したら△△になった件~	75	90
合計				302	359

- 島根暮らしの魅力を伝えるオンラインイベントを、テーマを設定して開催。R3年度は若者・女性をターゲットに設定

【イベントの実績】

R3				R2		
日付	テーマ	内容	参加者数	日付	内容	参加者数
5/15	女性向け	Shimane Beauty Caravan ティータイム編	61	6/20	しまね移住の先輩に聞く (林業)	3
6/18	女性向け	Shimane Beauty Caravan セルフケア編	67	7/4	しまね移住の先輩に聞く (農業)	3
8/1	女性向け	アイス片手にしまねを旅 するオンラインイベント	83	7/18	しまね移住の先輩に聞く (農業)	3
9/26	若者向け	はじめてのゆるソロキャン プinしまね	44	8/29	しまね神楽ナイト	71
11/27	若者向け	しまねでゆるキャン p vol. 24	16	9/30	しまね地ビールナイト	21
2/18	仕事	シマネの働き方オンライ ン見本市	93	11/21	しまね神在月オンライン 参拝	202
				12/26	ご縁を結ぶしめ縄づくり fromしまね	30
				2/13	ShimaneBeautyCaravan スキンケア編	48
合計			364	合計		381

- ・移住希望者と財団職員、市町村担当者との相談会をオンラインで4回開催

内容	日付	参加数(人)	財団対応(件)	市町村対応(件)	総件数(件)
第1回	6/5	43	10	33	86
第2回	8/29	26	7	33	66
第3回	12/11	18	6	13	37
第4回	2/20	51	12	19	82
合計		138	35	98	271

- ➡オンラインイベントは、参加のし易さのメリットがある反面、個別相談まで繋げる率が低い等の課題があるため、新型コロナの状況をみながらバランスよく対面イベントを組み込んでいくことが必要
- ➡また、参加しやすい入口を用意し、移住希望者の心のハードルを下げ、職業紹介スタッフによる個別支援に繋げていく工夫が必要

5. 「しまね移住支援サテライト東京」の活動 39,203 千円

(1) 事業の概要

首都圏における移住情報の提供や相談対応、島根への興味、意識啓発のセミナーの開催、交流機会の提供により、UIターン者の増加、関係人口の創出・拡大に取り組む。

(2) 事業の実績

- ・日比谷しまね館及びふるさと回帰支援センターに移住支援コーディネーターを配置し、移住希望者の様々な相談に対応
- ・新型コロナによる緊急事態宣言発出により窓口の閉鎖等が余儀なくされ、相談件数は、10月までは前年度より減少傾向だったが、宣言解除後の10月以降は対面相談が増加し回復傾向

【日比谷しまね館 しまね定住・雇用情報コーナー 相談実績】 (単位: 件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3	26	21	35	33	29	32	48	35	43	36	49	22	409
R2	16	10	58	72	68	69	55	60	36	37	34	32	547
R1	25	20	11	26	20	42	30	37	28	45	52	37	373

【ふるさと回帰支援センター 島根県移住相談窓口 相談実績】 (単位: 件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3	13	25	23	15	10	19	42	19	25	23	27	21	262
R2	1	1	16	26	17	27	8	24	6	9	4	14	153

- ・R3年度は、新規相談者を増やすため、新たにふるさと回帰支援センターにおいても以下の移住セミナーを開催

日付	イベント名	参加者(人)	日付	イベント名	参加者(人)	
6/5	しまね移住ミニ相談会①	4	12/11	しまね移住ミニ相談会③	2	
6/26	津和野町出張相談会	1	12/12	島根移住ステップセミナー④	7	
8/20	島根移住ステップセミナー①	11	1/16	島根移住ステップセミナー⑤	17	
8/29	しまね移住ミニ相談会②	2	2/20	しまね移住ミニ相談会④	4	
9/19	島根移住ステップセミナー②	10	2/27	島根暮らしセミナー	26	
11/7	島根移住ステップセミナー③	9				
					参加者合計	93

- ・島根への興味喚起、関心層の掘り起こしのため、首都圏在住者向けに移住・関係人口に関するセミナーを開催

【セミナー開催実績】

(単位：人)

日付	イベント名	会場	参加者
6/10	島根の日常①	オンライン	26
6/25	しまねトーク（仮）おためし回	オンライン	36
7/31	島根の日常②	オンライン	21
8/13	しまねトーク（仮）②	オンライン	35
9/17	島根の日常③	オンライン	27
11/3	専大SLDP木次イベント	日比谷しまね館	130
11/21	いわみん豆腐イベント	オンライン	9
12/12	島根の日常④	オンライン	19
12/18	女性キャリアイベント①②	オンライン	16
12/19	女性キャリアイベント③	オンライン	3
1/14	島根の日常⑤	オンライン	23
1/30	島根関連講座等交流会	HAPON新宿	中止
2/21	企業×島根セミナー	オンライン	8
3/4	島根の日常⑥	オンライン	18
3/11	複業×ローカル	オンライン	32
合計			403

※昨年度のセミナー参加者合計は342人

- ・企業版関係人口の創出のため、地域課題解決に向け県内3市町（安来市、川本町、奥出雲町）と都市部企業とのマッチングを調整
 - ・首都圏における相談窓口の認知度の向上、新規相談を増やすため、相談窓口広報のWEB動画配信やPR冊子を作成
- ➡引き続き、首都圏における相談窓口である「しまね移住支援サテライト東京」や「ふるさと回帰支援センター島根県ブース」の認知度向上のために、広報の強化が必要



IV. 活力と魅力ある地域づくりの促進

(単位：千円)

	現計予算額	決算額
県補助事業	53,660	51,821
NPO 中間組織委託事業	2,000	114

1. 関係人口拡大事業 20,812 千円

(1) 事業の概要

地域活性化への貢献や将来の移住に繋げるため、関係人口と地域づくりの担い手として関係人口を受け入れたい県内地域の掘り起こし及びマッチングを行う。

(2) 事業の実績

- 関係人口と地域づくりの担い手として関係人口を受け入れたい県内地域とのマッチングを行うポータルサイト「しまっち！」を開設（令和3年10月25日）



【「しまっち！」掲載実績】

(単位：件)

年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
プログラム	10	4	1	2	4	7	28
コミュニティ	1	3	0	0	0	0	4
活動レポート	5	5	3	3	2	2	20
お知らせ	3	0	2	4	2	0	11
合計	19	12	6	9	8	9	63

- 関係人口と地域団体のマッチングを促進するため、関係人口マッチングイベントをオンラインで次のとおり開催

開催日	参加団体	参加人数(人)
10/12	①たかはらんど ②江の川鐵道	15
10/30~31	①キャンドルナイトin波根海岸 実行委員会 ②ぼくらの学校	3
1/14	①たすき株式会社 ②NPO法人結のひろば	5

- “関係人口と取り組む地域づくり” “新しい地域づくりのカタチに挑戦する事例に学び合い‘島根らしい持続可能な地域づくり’” をテーマに、『しまね地域づくりフォーラム』を開催

	参加数(人)
1部のみ参加(YoutubeLive)	90
1部2部両方参加(ZOOM)	27
合計	117



- 16件の関係人口と地域団体とのマッチングを調整
- 関係人口の活用を検討する地域団体の要請に応じ、アドバイザー派遣を10件実施

- ・関係人口の受入事業を行う地域団体の事業実施に要する経費や受入促進に必要な経費（関係人口が県内活動地域を訪問する際の旅費交通費の一部）を助成

【助成実績】

団体名（所在地）	事業内容	活動支援 助成額 （千円）	受入促進 助成額 （千円）	受入 人数 （人）
海の駅 松島 （海士町）	島前高校生やその卒業生、大人の島留学生（海士町還流PJ）、本土の協力業者と連携しながら、新たな商品開発やイベントを企画・実施する	97	0	5
田んぼで金魚 （出雲市）	①休耕田を活用した金魚養殖池を整備・管理、②イベント出店による多伎及び活動のPR（金魚すくい等）	100	17	3
リライトはまだ （浜田市）	自然環境を活かしたイベントを実施し、美川地域を盛り上げ、地域内外の協働により持続可能なにぎわいを創出する	17	0	0
NPO法人ともに （奥出雲町）	奥出雲町三沢地区で8/15に実施される「みざわ十五夜まちあかり」内で行われる、ライトアップ・動画配信	95	10	4
NPO法人江の川鐵道 （邑南町）	①トロッコ運行に携わる人を新たに募る（＝関係人口）。②宇都井駅や口羽駅の草刈りや維持修繕作業にも関係人口を取り込んで実施する。①②で来てくれた関係人口へ交通費等を支給する。	81	94	13
たかはらんど （邑南町）	邑南町に存するたたらにまつわる史跡などの観光資源にスポットを当て、交流人口の増加と若年層の郷土愛醸成を図る。観光資源を活かしたツアー企画は、情報発信に携わる関係人口を確保。	98	11	20
日本酒サークル （出雲市）	出雲の文化を担う酒蔵、飲食店、酒屋が連携して出雲の地酒、特に純米酒に興味がある全国の方々を受け入れることで、その文化の勃興を図る。	58	39	19
風の国事業実行委員会 （江津市）	地元をはじめ多くの人々に来訪者に散策・利活用してもらうことを目的に、その整備とともに汗を流してもらい、地域の財産をブラッシュアップすることに関わってもらえる関係人口を受け入れ、持続可能な地域づくりを促進。	85	64	9
いわみ農援隊 （益田市）	草刈り作業や追肥作業の農業従事者、有資格者そして農業へ興味を持つ方を都市部から地方へ呼び込むためにPR活動と作業体験	0	0	3
NPO法人結のひろば （江津市）	全ての人にとって居場所となるプレーパーク作りを通して、地域外の人たちが地域との関わりや繋がりを持てる場や機会を提供する。	100	0	4
合計		731	235	80

- ・首都圏の大学生の関係人口創出を図るため、R3年度に島根県と連携協定を締結する専修大学に寄附講座を設置。95名の学生が履修し、全15回の講座を新型コロナの影響によりオンラインで実施

➡関係人口に対する市町村の考え方や取組み姿勢が様々であることから、まずは計画が具現化している市町村、地域の取組みを推し進め、成功事例の積み上げと横展開を図っていくことが必要

2. しまコトアカデミー 15,043千円

(1) 事業の概要

島根県の地域づくりに関心を持つ方を対象に、島根県への関心層の拡大及び地域貢献を目指す方の育成、そうした人材のネットワーク化を図るための連続講座を実施する。

(2) 事業の実績

- ・新型コロナの影響により完全オンラインで、東京・関西・広島・島根の4講座を全7回実施。受講生の9割弱が「島根との関り方に変化があった」とアンケートで回答

【受講者数】

(単位：人)

講座名	東京講座	関西講座	広島講座	島根講座	合計
参加人数	12	10	9	10	41

【講座内容】

	日程	内容
第1回	8/7	島根・しまコトを学ぶ (1)講座メンバーとの関係づくり
第2回	8/28	島根・しまコトを学ぶ (2)私の思いの棚卸し
第3回	9/19	私と島根がつながる (1)私と島根の接点を探す
第4回	10/16	私と島根がつながる (2)東京、関西、広島講座スペシャルデー
	10/23・24	私と島根がつながる (2)島根講座オンラインツアー
第5回	11/6	学びのジブンゴト化 (1)学びとつながりを編集する
第6回	11/28	学びのジブンゴト化 (2)マイプロジェクトを見つける
第7回	12/11	マイプロジェクトの発表・共有

- ・受講生としまコトOBOGが交流する「しまコトナイト」を62名の参加のもと1月に開催

➡島根との繋がりを継続していくためには受講後の活動が重要であるため、関係人口、起業支援情報等の継続的な提供、OBOGの情報共有の場の提供を検討

3. しまね田舎ツーリズムの推進 7,326千円

(1) 事業の概要

「食」「体験」「宿泊」が連携した農家民泊・漁家民泊の普及拡大に向け、しまね田舎ツーリズムの利用促進の広報や研修等を行い実践者の支援を行う。

(2) 事業の実績

- ・住宅宿泊事業法（民泊新法）又は旅館業法への移行手続きに対するフォローアップの実施

【田舎ツーリズム実践者数】

(単位：件)

	H30年度末	R1年度末	R2年度末	R3年度末
登録施設数	96	106	135	147

- ・実践者の研修会やリスクマネジメント研修、意見交換会をオンラインで実施

【研修会開催実績】

県内研修会			リスクマネジメント研修		
実施日	テーマ・内容	参加者(人)	実施日	テーマ・内容	参加者(人)
4/22	第1回オンライン意見交換会	9	6/9	新型コロナウイルス対策 *会場参加以外の77名は YouTube視聴	7
5/17	第2回オンライン意見交換会	14	6/14		29
5/20	市町村担当・定住支援員研修	33	6/17		4
6/17	第3回オンライン意見交換会	9	6/18		10
7/13	第1回県内研修会 ZOOMの使い方講座	4	6/21		7
7/20	第4回オンライン意見交換会	12	6/22		1
8/17	第5回オンライン意見交換会	12	6/24		5
9/17	第6回オンライン意見交換会	12	6/25		3
10/19	第7回オンライン意見交換会	14	6/28		0
12/14	第2回県内研修会 五しの里さじ地域協議会	28	6/29		2
1/17	第8回オンライン意見交換会	13	6/28	新規実践者向け体験宿泊受 入時のリスクについて	22
2/8	第3回県内研修会 田舎ツーリズムと関係人口	20			
3/17	第9回オンライン意見交換会	7			

- ・移住検討中の方の受け入れに積極的な民泊施設を特集した冊子の作成、「くらしまねっと」登録者へ広報の実施
- ➡新型コロナの影響もあり、体験者の受入人数が減少傾向にあることから、関係人口や移住希望者を受け入れるプログラムづくりや情報発信に重点的に取り組み、実践者全体へ波及させていくことが必要
- ➡実践者の高齢化が進んでいるため、普及セミナー等により後継者候補の育成が必要

4. 社会貢献活動事業 2,311 千円

(1) 事業の概要

地域の課題解決に向け、自主的・自発的に取り組む団体の活動（いわゆるNPO活動）がより活性化し、より良い地域づくりが展開できるための組織・人材育成支援などを行う。

(2) 事業の実績

- ・NPO入門講座をオンラインで実施し、その様子をアーカイブで配信。1月に開催予定だったNPO法人事務力検定は、新型コロナ感染拡大の影響で中止
- ・NPOの組織力を強化するためのマネジメント、資金調達力を強化するための講座等、基盤強化研修をオンラインで以下のとおり実施

実施日	テーマ・内容	参加者(人)
5/11	第1回助成制度オンライン合同説明会	32
8/5	NPOマネジメント研修<理事会編>	27
8/26	NPOマネジメント研修<監査編>	29
10/13	第2回助成制度オンライン合同説明会	22
11/24	NPOのための実践型ファンドレイジングセミナー第1回	4
12/15	NPOのための実践型ファンドレイジングセミナー第2回	5
1/19	NPOのための実践型ファンドレイジングセミナー第3回	6
3/9	NPOのための実践型ファンドレイジングセミナー第4回	5

- ・県内のNPO情報やボランティア等について、広く情報発信する県民活動応援サイト「島根いきいき広場」を運営し、NPO活動に関する情報発信をサポート

【県内NPO法人数の推移】

(単位：件)

	H29	H30	R1	R2	R3
認証件数	5	17	8	9	11
解散件数	7	11	8	10	14
所轄庁変更	1	0			▲ 2
法人総数	281	287	287	286	281

- ・休眠預金の活用に向け、資金分配団体として中国5県でコンソーシアムを組み、島根県内の団体にも対応できるよう体制を整え、申請を希望する団体を支援
- ➡NPO活動が持続的に実施されることが重要であり、組織基盤強化、財政基盤強化に向けたサポートが引き続き必要